

# 岡山理科大「恐竜学博物館」オープン

# ゴビ発掘の感動体感を

## 研究者ら記念シンポジウム



岡山理科大の恐竜学博物館開館を記念して開かれたシンポジウム

岡山理科大（岡山市北区理大町）に24日、モンゴル・ゴビ砂漠での化石発掘の成果などを紹介する「恐竜学博物館」がオープン。開館を記念して日本、モンゴルの研究者によるシンポジウム「恐竜 ゴビ砂漠の

者が出席。両国の最新研究の事例発表があり、参加した恐竜ファンら約150人が聞き入った。  
プロジェクトリーダーの石垣忍・同大生物地球学部教授は、館長を務める博物

館について「発掘や研究の現場の雰囲気を感じてほしい」と紹介。IPGのツオクトバートル所長はゴビ砂漠を世界的にも重要な恐竜調査のフィールドと説明し、「アジアの恐竜研究は発展途上。日本などと協力し、世界に発信する成果を上げていきたい」と話し

た。  
同館は入館無料。メイン展示室の開館は原則、平日の午前10時～午後4時45分。4月28日以降は土曜日も開き、一般向けの展示解説も始める。大学図書館内の3カ所で行うサテライト展示は、図書館開館日に見学できる。（稲垣心也）

シンポジウムに動画